

古代アメリカ学会 第21回研究大会・総会

主催 古代アメリカ学会
協力 国立民族学博物館

[第21回研究大会・総会の開催について](#)

[古代アメリカ学会第21回研究大会発表者へのお願い](#)

[チラシ表面 \(会場案内付きPDF\)](#)

[チラシ裏面 \(PDF版プログラム\)](#)

[発表要旨](#)

[シンポジウム「古代アメリカに関する高校教育を考える」概要](#)

- ・研究大会および総会は、国立民族学博物館第4セミナー室で実施します。
- ・会員でない方も資料印刷費500円を実費負担していただくと研究大会にご参加いただけます。

12月3日（土）

12:00 <受付開始>

12:40 <式辞>

【調査速報の部】

12:50 ベルー南海岸ベンティーヤ遺跡の発掘調査
山本睦 (山形大学), 坂井正人 (山形大学), ホルヘ・オラーノ (山形大学), 松本雄一 (山形大学)

13:10 通過儀礼から見た祭祀建築の一生: ワリ国家のD字形建築を事例として
土井正樹 (山形大学)

13:30 ワリ期の人物表現について –ペルー北部高地カハマルカ地方の事例–
渡部森哉 (南山大学)

13:50 <休憩10分間>

14:00 ホンジュラス共和国 コパン・ルイナス市における学校教育と博物館に関する調査速報
五木田まきは (金沢大学大学院)

14:20 コパン周縁に見られるモザイク石彫
平尾雅代 (金沢大学大学院)

14:40 ホンジュラス、コパンのマヤ遺跡における発掘調査–2016年度の概要紹介–
中村誠一 (金沢大学)

15:00 <休憩10分間>

15:10 パコバンパ遺跡カハマルカ期ミニチュア土器の分析
中川渚 (総合研究大学院大学), 関雄二 (国立民族学博物館), ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)

15:30 ペルー、パコバンパ遺跡から出土した人骨の生物考古学的研究 –2016年度調査報告–
長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学), 関雄二 (国立民族学博物館), 鶴澤和宏 (東亜大学), フアン・パブロ・ビジャヌエバ (ペルー国立サン・マルコス大学), ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)

15:50 パコバンパ遺跡の儀礼的コンテクストから出土した動物骨資料: 饗宴との関係を中心として
鶴澤和宏 (東亜大学), ディアナ・アレマン (国立民族学博物館), フアン・パブロ・ビジャヌエバ (ペルー国立サン・マルコス大学), 関雄二 (国立民族学博物館)

16:10 <休憩10分間>

【研究発表の部】

16:20 ベルー北部高地パコバンパ遺跡における形成期後期のC4資源利用
瀧上舞 (山形大学), 関雄二 (国立民族学博物館), 長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学), 鶴澤和宏 (東亜大学), ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学), 米田穰 (東京大学)

16:50 <休憩10分間>

17:00 総会

12月4日（日）

8:30 <受付開始>

【調査速報の部】

9:00 トラランカレカ遺跡2016年調査概報
福原弘識 (埼玉大学)

9:20 サン・アンドレス遺跡における新たな石造大基壇の発見とその意義
市川彰 (名古屋大学)

9:40 チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区の放射性炭素年代測定 –マヤ南部地域先古典期～古典期土器編年の再構築にむけて–
深谷岬 (名古屋大学大学院), 伊藤伸幸 (名古屋大学)

10:00 <休憩10分間>

10:10 アンデス形成期の神殿後背地研究を始めるにあたって
芝田幸一郎 (法政大学), 宮野元太郎 (芦屋大学)

10:30 コトシュ遺跡第4次発掘調査 –コトシュ・ミト期の新知見を中心に–
鶴見英成 (東京大学), セサル・サラ (ペルーカトリカ大学)

10:50 「エクアドル地震2016」による文化財被害
大平秀一 (東海大学)

11:10 <休憩 10分間>

11:20 メキシコ西部, ハリスコ州ロス・アルトス地域における踏査概報
吉田晃章 (東海大学), ロドリゴ・エスパルサ (ミチョアカン大学), フランシスコ・ロドリゲス (プレサ・デ・ラ・ルス調査団)

11:40 ニカラグア共和国, ラ・パス遺跡の発掘調査
長谷川悦夫 (埼玉大学)

12:00 グアテマラ, セイバル遺跡と周辺部の航空レーザー測量とマヤ文明の考古学調査
猪俣健 (アリゾナ大学), 青山和夫 (茨城大学), フローリー・ピンソン (サン・カルロス大学), ホセ・ルイス・ランチョス (グアテマラ国立人類学歴史学研究所), 原口強 (大阪市立大学), 那須浩郎 (総合研究大学院大学), 米延仁志 (鳴門教育大学), フアン・マヌエル・パロモ (アリゾナ大学)

12:20 <休憩90分間>

【研究発表の部】

13:50 マヤ人は夜の出来事をどのように記したか
八杉佳穂 (国立民族学博物館)

14:20 <休憩10分間>

【特別シンポジウム】

14:30 [古代アメリカに関する高校教育を考える](#)

事例報告: 多々良穂 (東北学院榴ヶ岡高等学校), 市木尚利 (リマ日本人学校)

ディスカッション: 森下壽典 (早稲田大学高等学院), 石田春彦 (静岡聖光学院中・高等学校), 鶴見英成 (東京大学), 渡部森哉 (南山大学)

15:30 <閉会>